

## 東京、新宿ターミナルのバリアフリー案内3Dマップを配布

鉄道の乗入れ路線が多く、バリアフリーな移動ルートが複雑なターミナル。鉄道各社が提供する構内図には、乗換駅へのルート途中の情報が無いため、バリアフリー案内『えきペディア』(ekipedia.jp)をサイト運営するNPO法人まちの案内推進ネット(理事長 岡田光生)は、両ターミナルの地上地下の移動ルートを立体的に俯瞰できるマップを作成した。



### ■無償配布、都内で11月11日より

エレベータやバリアフリー出口が見やすく強調されたマップは、日本郵便年賀寄附金の助成を受け、東京と新宿のターミナルがA3両面に印刷され、日本語8万、英語4万部を発行。

11月11日より都内の障害者団体や福祉団体などへ無償配布を開始する。

### ■連携した案内をターミナル地区で呼びかけ

東京五輪・パラリンピックを控え、案内所やホテル、商業施設においても、駅への移動ルートや周辺施設へのバリアフリー案内が必要とされるため、地区の諸施設に利用者への配布の協力を呼びかける。

■他都市でも配布連携 『えきペディア』では全国の地下鉄駅と主な都心ターミナルを統一マップでバリアフリー案内していることから、他都市の案内所にも協力を求め、来街者に事前にマップを提供することで、ターミナル到着時の“迷い”を減らすなど、旅行者にも便利な案内に発展させたいと考えている。

● 資料配布：国土交通記者会、東京都庁記者クラブ、ときわクラブ、青灯クラブ(大阪)

● お問い合わせ：岡田光生まで mobile: 090-6551-7639

NPO法人 まちの案内推進ネット

〒542-0012大阪市中央区谷町7丁目1番39号  
TEL 06-6768-7002 FAX 06-6768-7649



# 東京、新宿ターミナルのバリアフリー案内3Dマップを配布

## えきペディアの紹介

梅田地域共通サインシステムや大阪市案内表示ガイドライン策定・設計を通じ、事業者ごとに異なる案内表示の整合性と統一性の必要を痛感し岡田光生（弊所理事長）が2006年より運営開始

## えきペディアの活動

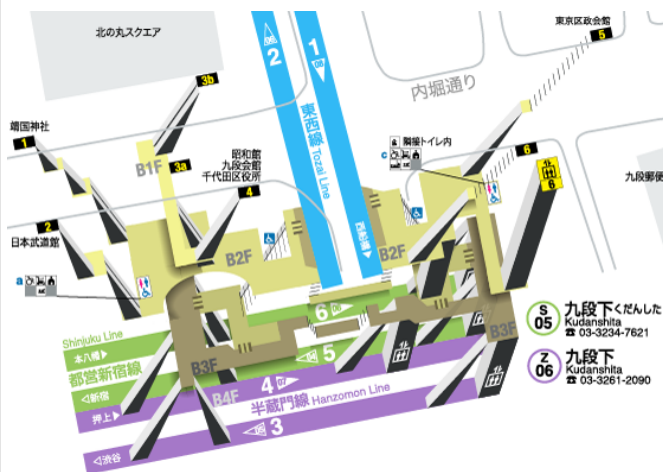
都市や交通機関が異なっても共通性のある案内を、障がいの有無や年齢、色覚、ビジネスや観光など目的を問わず利用できるユニバーサルな内容でWEBサイト、スマートアプリ（電子書籍）、印刷物で提供中

公共サービスとしてグッドデザイン賞、並びにIAUD国際ユニバーサルデザイン協議会・優秀賞を2010年受賞

## えきペディアの特長

- ・国内の地下鉄全746駅のマップ情報完備
- ・対象全駅のバリアフリー情報（トイレ、出入口）
- ・多層化した駅構造を視覚で捉えやすいデザイン
- ・色覚対応のカラーユニバーサルデザイン
- ・デバイスフリー（WEBサイト、印刷物、スマートフォン）

えきペディアのマップには地下鉄に特化した**地下鉄マップ**と、複数の駅が交錯しているターミナルでの周辺施設との位置関係をわかりやすく配置した**ターミナルマップ**があります



## えきペディアMAP\_地下鉄MAP

駅での移動経路がわかりやすい**バリアフリー重視のマップ**

- ◎ホームから出口まで、移動経路をわかりやすく
- ◎エレベータやバリアフリースペースを見つけやすい
- ◎都営とメトロなど交差駅は一図で表現
- ◎JRや私鉄への乗換え経路も、改札まで案内

## ターミナルMAP

地上・地下が一目でわかり、乗り換えも迷わない

- ◎複雑なターミナルの地上地下を一つのマップで表現
- ◎乗換えの経路やエレベータを探しやすい
- ◎駅の改札から出口や周辺施設への経路をわかりやすく



# 交通拠点ターミナルにおける移動円滑化の案内課題

ターミナルに出かける前に！移動に必須なエレベータの情報を入手できるか？

## 東京駅の例

「丸の内ビル前」



「丸の内南口」



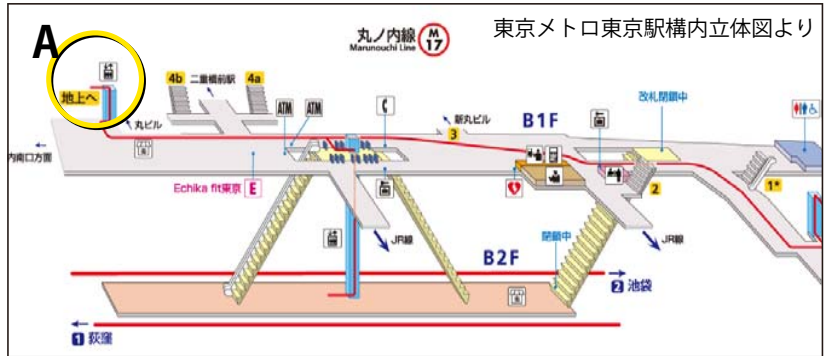
エレベータに番号が無いものは、弊所で「」内の様に仮名称を付け、写真とともにWebで案内している

えきペディア Web より

整備されたエレベータが案内として、見えない！

“エレベータが、どこに出るのか” わからない

交通機関 Web サイトより



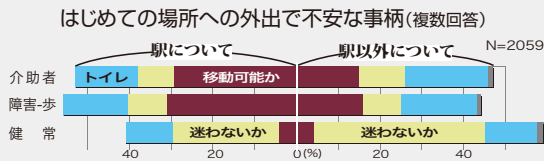
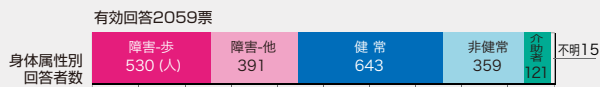
“エレベータが在る” とわからない



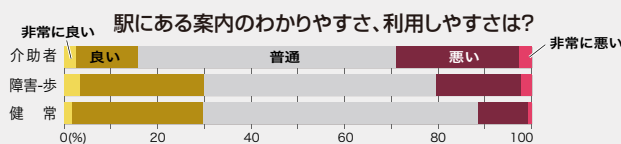
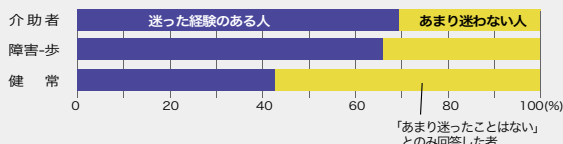
上は各社 Web サイトより

交通機関をはじめとした施設、個々の事業者のバリアフリー案内において、他社が管理するエレベータなど施設を記載するには、記載範囲や情報更新を含め様々な課題がともないます。エレベータを案内表記する場合、“名前や番号”が無ければ、その表記に窮します。また行き先である地上や地下のどこに繋がっているかも欲しい情報です。

## 外出と交通の案内についての調査

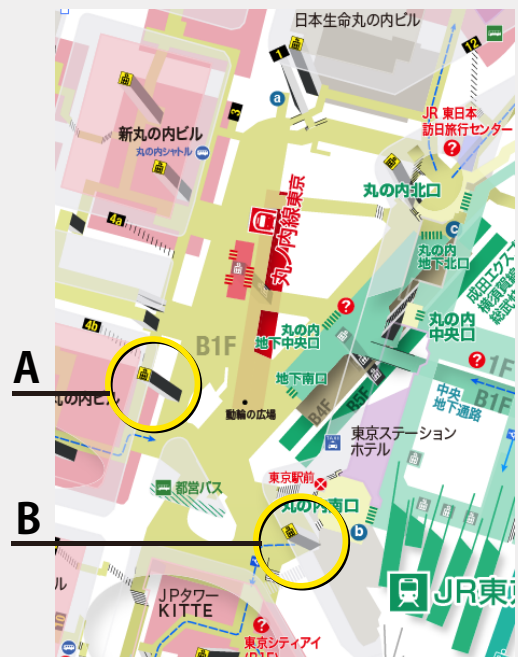


迷う人の割合 介助者と障害-歩の迷う人の割合は、健常者の1.6倍。



出典：調査レポート <http://annai.or.jp/project/enquete.pdf>

配布実施の『えきペディア』ターミナル MAP より



2006年に大阪府下及び近隣で、鉄道の利用しやすさ・駅の案内など20設問からなるアンケート調査を実施。回答結果として、利用者は、エレベータ設置など鉄道駅の“ハード”整備を高評価、しかし駅の案内はわかりにくいと評価が低く、障がい者・介助者は健常者に比べ、駅で大変よく迷い、バリアフリー経路の分かりやすい案内を求めていることが判明した。



## ターミナルに到着後！わかりやすくバリアフリー移動できるか？

サインを見て、案内所やホテルで尋ね、途中で店舗や通行人にたずねて

### 新宿駅の例

バリアフリー施設整備とサイン整備が進んでいる公共交通の乗換えで！  
バリアフリーな経路の繋がりが、わからない、情報につながらない

バリアフリー経路となる動線が地上地下にまたがり複雑です。経路を案内する場合に“言葉だけで伝える”のが難しい  
例) 京王新線新宿駅⇔JR 新宿駅南口など



案内マップへのニーズ  
他所例) 観光案内所/梅田・なんば  
2ヵ所で利用者37.1万人/年間  
1割程度はマップによる案内が必要

行き先の都市や交通手段が違って、迷いやすいターミナルの案内を、だれもが利用しやすい印刷物で、出発前や現地の案内所などで容易に入手できれば、移動の不安や人によっては移動の困難を回避できる。



このターミナル MAP は不足するバリアフリーアクセス情報を補なう素材として Web での API 利用や印刷物利用が可能です



### ターミナル MAP 配布に際して

- 1) ターミナル地区各社の案内情報『ソフト資産 = 施設マップや観光マップ』では、案内範囲の広狭により提供できていない“バリアフリー経路のつながり”を案内として補完する。
- 2) 社会資本が投入され整備されたエレベータなどのバリアフリー『ハード資産』を、利用者の視点でこのマップの様に“見える化”し、実質的な利活用を促すことが必要である。
- 3) ターミナルにおける移動円滑化支援の案内が普及することで、地区の諸施設や空間の広がりへの理解が得やすくなり、日常における来街者の回遊性向上による経済効果や、非常の際のより安全な避難につながると考える。
- 4) 国内の都市間移動の要である主要都市のターミナルで、移動支援の案内がユニバーサルデザインを基盤に、一定の統一性や整合性を持って具体的に提供されることが、観光推進、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック開催に向け重要と云える。

(岡田)



## 【主な活動履歴】

- 2005、10 活動開始
- 2006、3 大阪府下および近隣都市で「外出と交通の案内について」アンケート調査実施（回収：障害 921、非障害 1002）
- 2006、8 特定非営利活動法人設立
- 2006、11 えきペディア Web サイトにて大阪の地下鉄駅バリアフリー情報を供用開始
- 2006、11 「外出と交通の案内についてのアンケート調査レポート」発刊配布
- 2007、9 「えきペディア Web で東京、横浜、福岡を追加公開、計 474 駅
- 2007、10 電動車いすサッカーワールドカップジャパンにバリアフリー案内マップ提供協力
- 2008、4 えきペディア Web サイト国内 9 都市 41 路線、地下鉄全 713 駅を網羅
- 2008、7 UD 対応、色覚バリアフリー研究成果を「えきペディア」WEB サイトで実施（三菱財団研究助成）
- 2009、9 アジアユースパラゲームズ公認サプライヤーとしてバリアフリー情報提供協力
- 2009、9 「えきペディア地下鉄マップ東京」iPhone アプリ開発発売
- 2009、10 第 9 回全国障害者スポーツ大会バリアフリー情報提供協力
- 2009、11 「えきペディア地下鉄バリアフリーマップ大阪」発刊 3 万冊配布（郵便事業助成）
- 2010、1 「えきペディア地下鉄マップ」iPhone アプリ国内 9 都市が揃う
- 2010、3 仙台圏公共交通バリアフリー情報提供プロジェクト（国交省東北運輸局受託）
- 2010、9 「バリアフリー案内システム」としてグッドデザイン賞（公共サービスシステム）受賞
- 2010、10 国際ユニバーサルデザイン協議会 WARD 優秀賞  
【公共交通利用における移動支援情報の提供システムモデル構築】
- 2010、12 「えきペディア地下鉄バリアフリーマップ横浜」発刊 3 万冊配布、NPO 協働
- 2011、7 東日本大震災と原発被災地に車椅子 300 台提供（日本郵便助成）
- 2011、11 「えきペディア京都らくらく乗換マップ」作成、3 万部配布、広告協賛
- 2011、11 ターミナル案内「えきペディア大阪乗換マップ」作成、5.1 万 1 部配布
- 2011、11 NPO のための OJT による Web ページ制作講座（大阪府新しい公共支援事業）
- 2012、3 「えきペディア地下鉄バリアフリーマップ京都」発刊 2 万冊配布、NPO 協働
- 2012、5 「えきペディア地下鉄マップ東京」Android アプリ開発リリース（日本郵便助成）
- 2012、7 NPO のための OJT による Web ページ制作講座（大阪府新しい公共支援事業）
- 2012、7 「えきペディア郵便局 & バリアフリー」アプリ開発リリース（日本郵便助成）
- 2012、9 開発したターミナル案内えきペディア New Map の「えきペディア」Web サイトとスマートフォンアプリへの導入開始
- 2013、2 ターミナル MAP 開発整備開始
- 2014、1 「えきペディア地下鉄バリアフリーマップ神戸」発刊 1 万冊配布、NPO 協働
- 2014、1 「えきペディア地下鉄バリアフリーマップ札幌」発刊 1 万冊配布、NPO 協働
- 2014、4 Web サイト・新システム開発導入、スマートフォン対応（日本郵便助成）
- 2014、8 Web サービス、えきペディア API 開発によるコンテンツ提供サービス開始
- 2015、4 「えきペディア地下鉄バリアフリーマップ福岡」発刊 1.5 万冊配布、NPO 協働
- 2015、9 ターミナル MAP 印刷物の案内所等・都市連携配布を神戸より開始（企業協賛）
- 2016、8 「えきペディア MAP プリント」コンビニエンスでのプリント出力サービス開始

WEBサイトで <http://ekipedia.jp/>



アプリで



## 情報提供の連携

新潟国体、アジアユースパラゲームズ等のスポーツ大会や食博覧会などのイベントに際し、WEBサイトでの案内において、会場への交通アクセス情報、会場・施設のバリアフリー情報提供を実施協力。



APIで  
Application Program Interface  
Webサイトで  
施設へのアクセス案内に

## 冊子やマップ配布など印刷物で



出かける前や外出先で  
近くのコンビニで  
MAPプリント  
コンビニエンスで

